

## 第7節 教育について

問23 市の小中学校の教育について、どう感じていますか。【(1)～(6)でそれぞれ○は1つだけ】

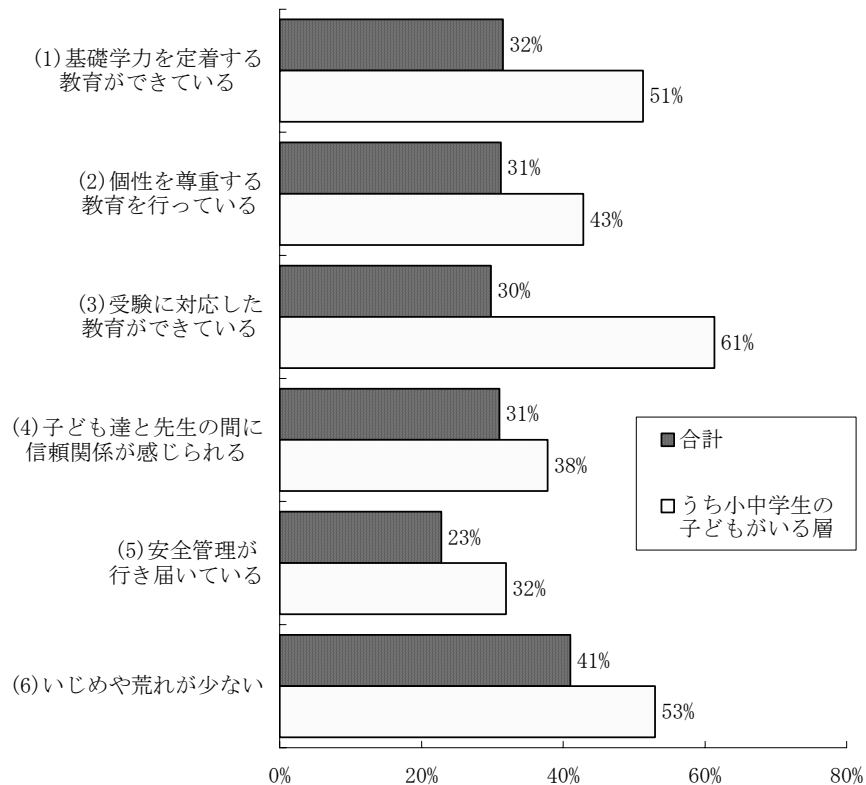
		問6 子どもの有無（再区分）						合計	
		小中学生の子どもがいる		小中学生までの子どもがいる		小中学生までの子どもはいない			
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
(1) 基礎学力を定着する教育ができていない	そう思う	18	15.1%	20	10.6%	59	7.8%	90	7.8%
	どちらでもない	26	21.8%	45	23.8%	137	18.2%	210	18.3%
	そうは思わない	61	51.3%	82	43.4%	233	30.9%	361	31.5%
	わからない	12	10.1%	38	20.1%	253	33.6%	355	31.0%
	無回答	2	1.7%	4	2.1%	72	9.5%	131	11.4%
	合計	119	100.0%	189	100.0%	754	100.0%	1,147	100.0%
(2) 個性を尊重する教育を行っている	そう思う	17	14.3%	18	9.5%	38	5.0%	62	5.4%
	どちらでもない	34	28.6%	54	28.6%	148	19.6%	230	20.1%
	そうは思わない	51	42.9%	73	38.6%	234	31.0%	358	31.2%
	わからない	15	12.6%	40	21.2%	259	34.4%	360	31.4%
	無回答	2	1.7%	4	2.1%	75	9.9%	137	11.9%
	合計	119	100.0%	189	100.0%	754	100.0%	1,147	100.0%
(3) 受験に対応した教育ができていない	そう思う	4	3.4%	6	3.2%	49	6.5%	60	5.2%
	どちらでもない	22	18.5%	37	19.6%	158	21.0%	225	19.6%
	そうは思わない	73	61.3%	101	53.4%	193	25.6%	342	29.8%
	わからない	18	15.1%	41	21.7%	274	36.3%	376	32.8%
	無回答	2	1.7%	4	2.1%	80	10.6%	144	12.6%
	合計	119	100.0%	189	100.0%	754	100.0%	1,147	100.0%
(4) 子ども達と先生の間信頼関係が感じられる	そう思う	25	21.0%	28	14.8%	55	7.3%	96	8.4%
	どちらでもない	34	28.6%	51	27.0%	131	17.4%	206	18.0%
	そうは思わない	45	37.8%	67	35.4%	226	30.0%	356	31.0%
	わからない	13	10.9%	39	20.6%	264	35.0%	354	30.9%
	無回答	2	1.7%	4	2.1%	78	10.3%	135	11.8%
	合計	119	100.0%	189	100.0%	754	100.0%	1,147	100.0%
(5) 安全管理が行き届いている	そう思う	22	18.5%	24	12.7%	56	7.4%	90	7.8%
	どちらでもない	43	36.1%	68	36.0%	194	25.7%	295	25.7%
	そうは思わない	38	31.9%	55	29.1%	165	21.9%	261	22.8%
	わからない	14	11.8%	38	20.1%	261	34.6%	357	31.1%
	無回答	2	1.7%	4	2.1%	78	10.3%	144	12.6%
	合計	119	100.0%	189	100.0%	754	100.0%	1,147	100.0%
(6) いじめや荒れが少ない	そう思う	12	10.1%	13	6.9%	54	7.2%	73	6.4%
	どちらでもない	27	22.7%	41	21.7%	92	12.2%	150	13.1%
	そうは思わない	63	52.9%	91	48.1%	306	40.6%	470	41.0%
	わからない	15	12.6%	40	21.2%	237	31.4%	327	28.5%
	無回答	2	1.7%	4	2.1%	65	8.6%	127	11.1%
	合計	119	100.0%	189	100.0%	754	100.0%	1,147	100.0%

小中学校の評価について、6つの項目で「そう思う」か「そうは思わない」かをたずねたところ、いずれの項目においても「そうは思わない」が「そう思う」を上回る厳しい評価となりました。

「そうは思わない」の割合を項目ごとにみると、「基礎学力を定着する教育ができていない」は32%、「個性を尊重する教育を行っている」は31%、「受験に対応した教育ができていない」は30%、「子ども達と先生の間信頼関係が感じられる」は31%、「安全管理が行き届いている」は23%、「いじめや荒れが少ない」は41%となっており、現在、子どもがいる層では、さらに「そうは思わない」の割合は高くなっています。

本市では、こうした結果を真摯に受け止め、一層の学校教育の充実に努めていく必要があります。

「そうは思わない」という回答の割合



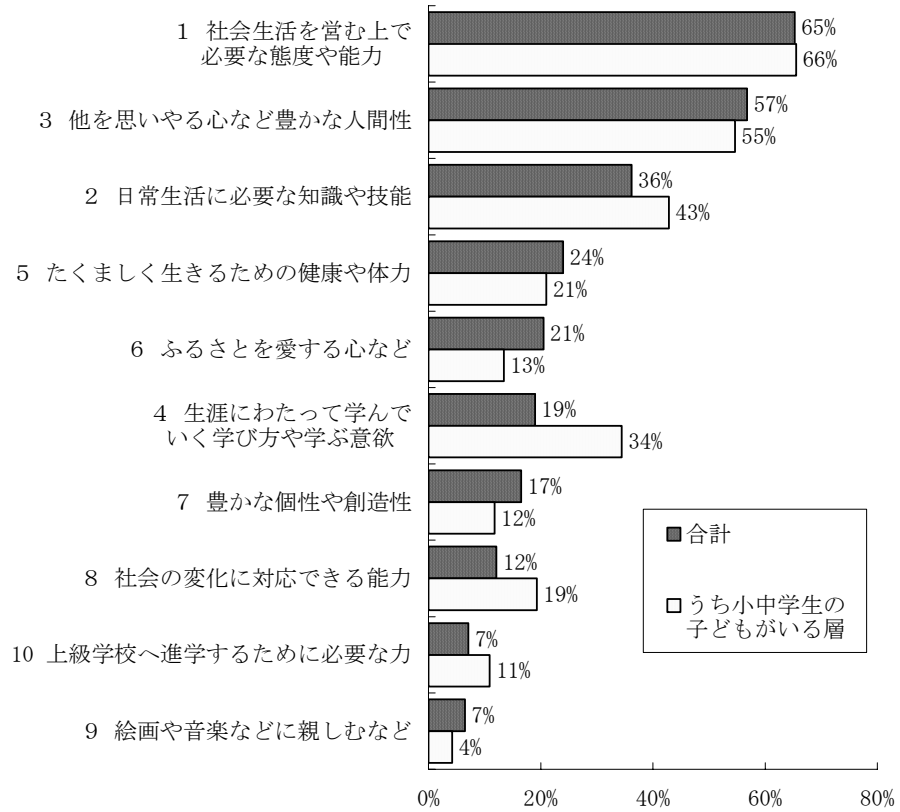
問 24 あなたは、市の小中学校の教育で、どのようなことを身につける教育を特に重視すべきと思いますか。【〇は3つまで】

	問6 子どもの有無（再区分）						合計	
	小中学生の子どもがいる		小中学生までの子どもがいる		小中学生までの子どもはいない			
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1 人と仲良くつきあえるなど、社会生活を営む上で必要な態度や能力	78	65.5%	131	69.3%	497	65.9%	749	65.3%
2 読み、書き、計算など日常生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能	51	42.9%	76	40.2%	286	37.9%	415	36.2%
3 自らを律し、他を思いやる心や感動する心など豊かな人間性	65	54.6%	97	51.3%	443	58.8%	652	56.8%
4 生涯にわたって自分で学んでいくための学び方や学ぶ意欲	41	34.5%	63	33.3%	120	15.9%	218	19.0%
5 たくましく生きるための健康や体力	25	21.0%	43	22.8%	177	23.5%	275	24.0%
6 ふるさとを愛する心、自然環境や社会環境についての基礎的な知識	16	13.4%	19	10.1%	168	22.3%	235	20.5%
7 豊かな個性や創造性	14	11.8%	28	14.8%	133	17.6%	189	16.5%
8 国際化、情報化など社会の変化に対応できる能力(英会話力やコンピュータ操作など)	23	19.3%	33	17.5%	88	11.7%	139	12.1%
9 絵画や音楽などに親しみ、美しいものに感動できる情操	5	4.2%	12	6.3%	46	6.1%	75	6.5%
10 上級学校へ進学するために必要な力	13	10.9%	15	7.9%	56	7.4%	82	7.1%
11 その他	5	4.2%	7	3.7%	11	1.5%	19	1.7%
12 わからない	0	0.0%	2	1.1%	20	2.7%	31	2.7%
無回答	3	2.5%	5	2.6%	25	3.3%	52	4.5%
合計	119	100.0%	189	100.0%	754	100.0%	1,147	100.0%

重視すべき教育内容については、「社会生活を営む上で必要な態度や能力」が65%と最も高い割合となっており、次いで「他を思いやる心など豊かな人間性」が57%、「日常生活に必要な知識や技能」が36%となっています。

学校に対する評価の設問と異なり、この設問では、子どもがいる層もいない層も回答の傾向に大きな差はみられません。「生涯にわたって学んでいく学び方や学ぶ意欲」について、子どもがいる層でやや高い割合となっています。

重視すべき教育内容（割合が高い順に掲載）



問 25 あなたは、今後、どのような学習や活動をしていますか。また、今後してみたいと思いますか。【(1)～(12)でそれぞれ○は1つだけ】

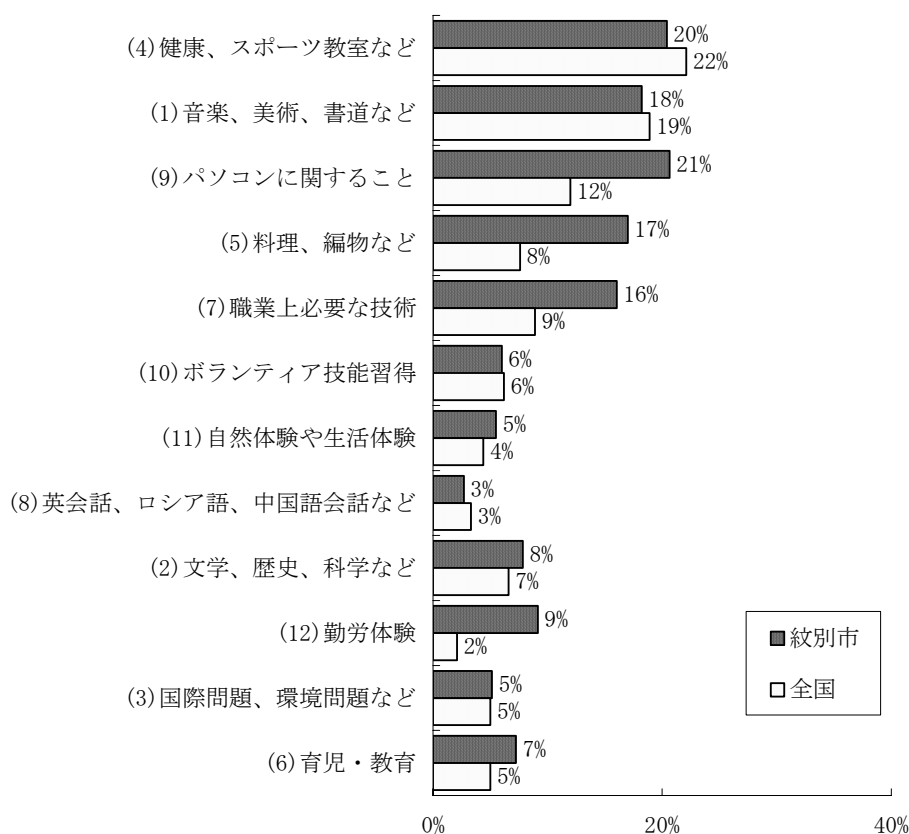
	現在も今後 も行う		していない がやりたい		していないし 今後もしない		わから ない		無回答		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
(1) 趣味的なもの（音楽、美術、書道など）	209	18.2%	451	39.3%	188	16.4%	135	11.8%	164	14.3%	1,147	100.0%
(2) 教養的なもの（文学、歴史、科学など）	90	7.8%	269	23.5%	321	28.0%	265	23.1%	202	17.6%	1,147	100.0%
(3) 社会問題（国際問題、環境問題など）	59	5.1%	262	22.8%	263	22.9%	347	30.3%	216	18.8%	1,147	100.0%
(4) 健康・スポーツ（健康教室、スポーツ教室など）	234	20.4%	477	41.6%	122	10.6%	127	11.1%	187	16.3%	1,147	100.0%
(5) 家庭生活に役立つ技能（料理、編物など）	195	17.0%	405	35.3%	200	17.4%	152	13.3%	195	17.0%	1,147	100.0%
(6) 育児・教育（幼児教育、教育問題など）	83	7.2%	214	18.7%	270	23.5%	357	31.1%	223	19.4%	1,147	100.0%
(7) 職業上必要な知識・技能（技術、資格の習得など）	184	16.0%	334	29.1%	221	19.3%	191	16.7%	217	18.9%	1,147	100.0%
(8) 語学（英会話、ロシア語会話、中国語会話など）	31	2.7%	338	29.5%	353	30.8%	217	18.9%	208	18.1%	1,147	100.0%
(9) パソコン・インターネットに関すること	237	20.7%	376	32.8%	195	17.0%	151	13.2%	188	16.4%	1,147	100.0%
(10) ボランティア活動やそのための技能（手話など）	69	6.0%	404	35.2%	219	19.1%	257	22.4%	198	17.3%	1,147	100.0%
(11) 自然体験や生活体験などの体験活動	63	5.5%	360	31.4%	242	21.1%	287	25.0%	195	17.0%	1,147	100.0%
(12) 勤労体験	105	9.2%	243	21.2%	250	21.8%	349	30.4%	200	17.4%	1,147	100.0%

生涯学習の現状と意向については、「現在も今後行う」という回答（参加率）は、「パソコンに関すること」が 21%、「健康、スポーツ教室など」が 20%、「音楽、美術、書道など」が 18%、「料理、編物など」が 17%などとなっています。また、「していないがやりたい」という回答をあわせた参加希望率では、「健康、スポーツ教室など」の 62%を筆頭に、多くの項目で参加率の数倍の希望となっています。

国の「生涯学習に関する世論調査（平成 17 年 5 月）」と比較すると、参加率では 12 項目中 7 項目で、全国平均より本市の方が高くなっており、参加希望率ではすべての項目で、全国平均より本市の方が高くなっています。

参加希望率が本市において高くなっていることは、両調査の回答方法の相違（国の調査は、12 項目から選ぶ方式。本市の調査は 1 項目ずつ回答する方式）による影響も考慮しないといけませんが、国の調査と比較することにより、例えば、本市においては「パソコンに関すること」や「職業上必要な技術」といった実生活にすぐに役立つ内容で、参加率も参加希望率も高くなっていることなど、本市の生涯学習ニーズの特徴は結果に表れているといえます。

生涯学習活動の参加率（参加希望率が高い順に掲載）



生涯学習活動の参加希望率（参加希望率が高い順に掲載）

